

順心女子学園 中学校・高等学校

帰国生には最高の環境と条件（４）

校長補佐 小山 和智

順心女子学園では、今春「特進コース」を開設したほか、海外 AO 入試を随時実施しています。
このシリーズでは毎回、「隠れた人気校」の素顔をご紹介します。

● 2007 年度からの共学化について

順心女子学園が共学校になることは、既に受験情報誌等で伝えられていますが、いきなりお医者さんのお子様数名“予約”されたのには驚きました。具体的な枠組みの決定はこれからですので、正しいご理解とご準備をよろしくお願いいたします。

順心女子学園は 1918 年、板垣退助夫人絹子女史らを中心とする大日本婦人慈善会（後の共愛会）が、教育の機会に恵まれなかった女子自立のための教育機関として創立いたしました。この順心創立の志は長年にわたって熱意ある関係者の手で引き継がれ、十分にその役割を果たしてきたことは疑いありません。しかし、創立当時、誰も予想が出来なかったほどに社会は変わり、時代のニーズも変化しています。

「男女共同参画社会」と言われる今日、高度な専門知識や技術を身につけて社会に貢献するという点においては、男女の別なく考えることができる時代とも言えます。男女それぞれが互いの特性を發揮しながら、手を携えて高度な社会発展に貢献できる人材の育成…本校は、これまで女子教育の側面からその理想を掲げてまいりました。その理想をさらにさらに高く、さらに広く掲げるために、この 1 世紀にわたる実績と誇りをもって、2007 年度より本校の教育を男子生徒にも部分的に開いていくことを決意した次第です。

また、これまでの伝統を尊重し、かつこの広尾の地の新時代にふさわしい名称をとということで、校名は「広尾学園中学校高等学校」と決定しました。愛称の「HIROGAKU」ともにご愛顧いただけましたら幸いです。

● 男子は「特進コース」のみの限定

予めお断りしておきますが、正確に申しますと「共学のコースもある」ということです。つまり「特進コース」のみの限定で男子を受け入れていくわけですから、「部分共学」といったほうが正しいかと思えます。

「特進コース」の編成の対象は、現地校や日本人学校等で上位 15% 以内の成績をとっているお子様です。それを国内の受験偏差値でいえば、高校入試が V 模擬等で「60」以上、中学入試が首都圏模試で「48」（四谷大塚なら「44」）以上が合格の目安ということになります。つまり、日本人学校中学部の生徒さんでしたら、5 段階評価で国語・数学・英語・社

会・理科の 5 科の評定合計が「22」以上を目安とお考えください。

注) ちなみに「総合コース」（女子のみ）は偏差値「50」以上、つまり 5 段階評価でいえば「オール 3」以上が目安です。



現地校の場合に

は、例えば A～E の 5 段階評価であれば「B」以上ということになります。もし、カウンティや学区内の統一試験で「上位 15% 以内」を証明するものがありましたら、それを参考資料としてご提出いただけましたら幸いです。もちろん、校内で「Academic Excellence」や「Honor Roll」などの表彰を受けておられれば、まず大丈夫です。

帰国生の試験科目は小論文（日本語・英語のどちらか）と面接（日本語）だけですが、「特進コース」希望者には、数学の適性試験にも挑戦していただきます。